

熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

◆目的

近年の夏期における猛暑日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して、現場管理費の補正を行うことで、労働環境の改善を図ることを目的とする。

◆対象工事

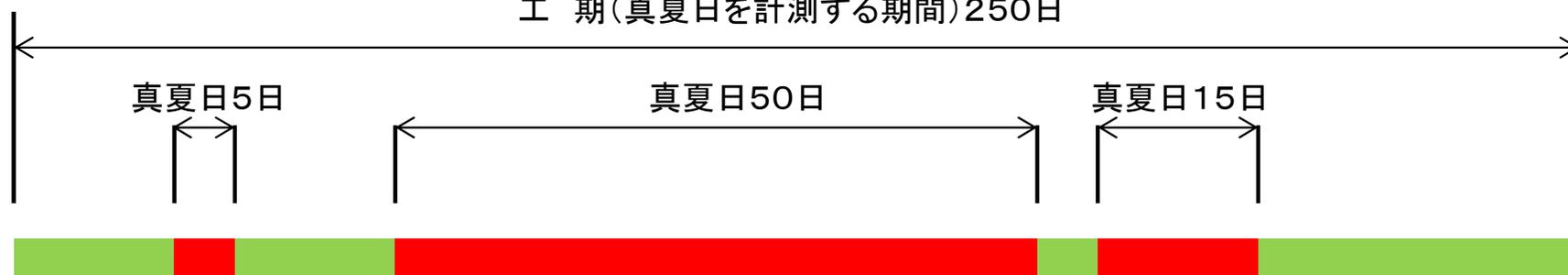
建設交通部発注の主たる工種が屋外作業である工事で、受注者が希望したもの。但し、通年維持工事や緊急対応工事等の工事、営繕工事は除く。

◆補正方法

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。

現場管理費補正のイメージ

工期(真夏日を計測する期間)250日



真夏日率=工期期間中の真夏日^{※1}(5日+50日+15日)÷工期 250日=0.28

※1 真夏日:日最高気温が30度以上の日

補正値(%)=真夏日率×補正係数^{※2} 0.28×1.2=0.34

※2 補正係数:1.2

現場管理費=対象純工事費×(現場管理費率+補正値)

〈補正例〉直接工事費3千万円の河川・道路構造物工事の場合で工期250日のうち、真夏日が70日の場合

純工事費=直接工事費+共通仮設費=34,092,000円

現場管理費=34,092,000×(33.51%+0.34%)

対策費用として、現場管理費 約12万円増